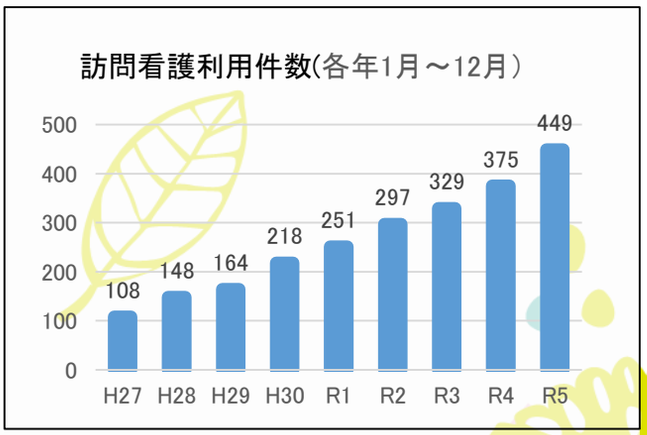
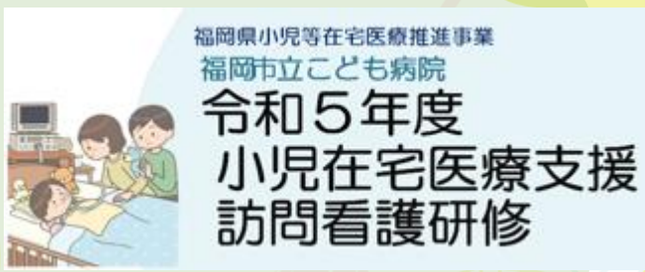
福岡市立こども病院
地域医療連携室ニュースレター
Newsletter
Vol. 19
2024年3月号

『小児等在宅医療推進事業』について～当院の取組み

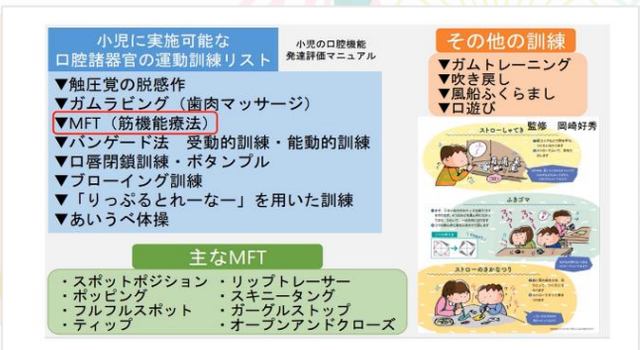
医療的ケアを日常的に必要としながら在宅で療養することもたちが増えています。
令和3年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律(**医療的ケア児支援法**)」が施行され、医療的ケア児が安心して暮らせるよう支援の充実と体制整備が図られつつあります。地域での受け入れが進み、当院を退院後に訪問看護を利用する患者さんも、右のグラフのとおり年々増加傾向にあります。令和5年度、訪問看護の新規導入は92件ありました。(12月末時点)
当院は平成26年より福岡県の実施する**「小児等在宅医療推進事業」**の拠点病院として小児等の在宅医療を支える活動を行っております。主な活動は以下のとおりです。



◆訪問看護研修
①小児看護に必要な知識・技術を学ぶ
②研修での学びを訪問支援に役立てる
上記2点を目的として、福岡地区の訪問看護ステーションに勤務するスタッフを対象に年1回実施しています。
令和5年度は、
「在宅人工呼吸療法～緊急時・災害時の対応を中心に」
をテーマに2/5～2/29 にYou Tube配信しました。
100名の方にお申込みいただきました。



◆多職種研修
障害児者の病状理解と対応についての知識・技術の向上を図ることを目的として喀痰吸引等(登録特定行為)事業者、特別支援学校のスタッフを対象に年1回実施しています。
令和5年度は、
「言語聴覚士によるリハビリについて」
をテーマに9/11～10月6日にYou Tube配信しました。
69名の方にお申込みいただきました。



◆同行訪問
在宅人工呼吸器を導入する患者・医療的ケアを必要とする患者を対象に、病院スタッフが訪問看護ステーションと同行し、退院前後に患者宅訪問を実施しています。在宅移行支援として、退院前の自宅の環境調整、病院から訪問看護ステーションへのスムーズな引継ぎ、自宅環境での児の変化や家族の生活スタイルの変化の確認等を目的としています。
本年度は1月末時点で退院前訪問3回、退院後訪問を1回実施しました。

◆福岡県小児慢性特定疾病児等レスパイト支援事業の体制整備と実施
必要な家族に対して、適切な時にレスパイトの受け入れができるよう、体制整備を行っています。
本年度は1月末時点で、レスパイト入院は8件となっています。

今年度も、WEBによる研修開催実施となりましたが、当院から離れた勤務地の方も参加が可能となり、広く情報共有を図ることができています。
また同行訪問においてはオンラインを活用し、よりよい看護ケアの提供に努めています。
本事業の拠点病院として、今後も地域で在宅療養を支える体制の整備を行いながら、課題に向けた取り組みを継続していきたいと思います。

福岡市立こども病院
地域医療連携室ニュースレター

Newsletter Vol. 19
2024年3月号

☆診療体制のご紹介☆

〇外来診療担当医表（令和６年４月）

添付の別紙をご参照ください。下記URLまたは病院ＨＰからもご覧いただけます。

https://childhp.fcho.jp/files/uploads/外来診療担当医表（令和6年4月）.pdf

病院ＨＰ　https://childhp.fcho.jp/



☆地域別紹介患者統計(2023年10月～12月)☆

桜花の候、先生方にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
今年度も多くの患者さんをご紹介いただき感謝申し上げます。
来年度も引き続きご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

地域医療連携室副室長　大﨑　栄人

地　区	10月	11月	12月	地　区	10月	11月	12月
福岡市医師会地区	522	495	533	糸島医師会地区	19	16	14
東区	250	290	273	粕屋医師会地区	149	126	133
博多区	50	41	59	宗像医師会地区	45	33	35
中央区	57	32	57	筑紫医師会地区	63	50	54
南区	36	32	36	その他福岡県内	37	36	28
城南区	18	19	12	九州(福岡県外)	136	144	119
早良区	74	48	59	その他(九州外)	42	46	20
西区	37	33	37	合計	1013	946	936

☆カンファレンス・研修会のご案内☆

〇第350回こども病院カンファレンス WEB開催(オンデマンド配信)【配信期間】4/16～5/16
※「日本医師会生涯教育制度の単位」が必要な先生は4月16日もしくは17日の視聴が必須です。
https://childhp.fcho.jp/formedicalperson/conference/lastconference

★こちらから動画をご覧いただけます。
視聴後は出席登録をお願いします。

ID　kodomo@conference
パスワード　9ufkYFsdGX4H

新生児・乳児胆汁うっ滞に関する最近の知見

【テーマ】リフレッシュコース　小児外科　林田　真

胆汁うっ滞は胆汁に分泌されるべき成分が血液中は肝外の組織中に見られることであり、血清の直接ビリルビン値は異常を示す。母乳性黄疸や生理的黄疸にまぎれて直接ビリルビン高値の胆汁うっ滞を見落とされ易く、なかには予後不良な疾患も含まれる。新生児および乳児の胆汁うっ滞の原因は非常に様々で、それらの病態および遺伝子検査等に関して最近の知見について解説する。

「血尿」のあれこれ

【テーマ】リフレッシュコース　腎疾患科　渡辺　ゆか

「血尿」は日常診療でよく出会う主訴だが、実際には血尿ではないものや糸球体性血尿、非糸球体性血尿があり、原因に関しても、経過観察可能なものから緊急性のある重篤な疾患まで多種多様である。今回は、血尿の患者さんに出会ったときの評価の手順を再確認し、実際の症例をもとに「血尿」の診療で出会うピットフォール、common diseaseから重篤な疾患まで具体的に概説する。

☆連携室からのご案内☆

当日の診察・入院の依頼は医師間での連絡をお願いしております。地域医療連携室へご連絡ください。
当日の担当医へ電話をお繋ぎいたします。

福岡市立こども病院　地域医療連携室　webサイトはこちら

診療情報提供書を緊急にFAXする場合は下記の番号をご利用下さい
・地域医療連携室(平日時間内の対応)　FAX　092-692-3318
・救急事務室（時間外・土日の対応）　FAX　092-692-3369

ご意見・お問い合わせは
地域医療連携室（担当：寺本・野﨑）
までお願いいたします
TEL：092-692-3316
Mail：renkei.k@fcho.jp